

1. 研究活動

子どもの情報機器の取り組み方の変化Ⅲ	2011. 5. 22	日本保育学会第 64 回大会 玉川大学	本学附属クリエ幼稚園において子どものコンピュータ表現活動を始めて 12 年目を迎える。2008 年度からは四年制専門ゼミとして位置づけ、また 2009 年度からは幼小連携を踏まえ、小学校 1・2 年生に対象範囲を広げる。幼稚園児は描画活動では遊びの延長として発展しやすいが、音楽作りは表現活動にまで発展が難しい。小学校 1・2 年生はこれらの活動にどう取り組むのであろうか。両者の違いを知り、情報機器をどのように扱えば子ども表現活動の幅を広げるツールにできるのかを援助学生の子どもの関わり方を含め研究するものである。
小学校学童期の音楽教育の考察Ⅱ 一幼児と小学校低学年の情報機器を使用した表現活動を通して一	2012. 3 発行	名古屋芸術大学研究紀要 第 33 巻	本学人間発達学部では、芸術的環境のもとで高い音楽指導能力を備えた教育・保育者を養成することが課題であり、「教科音楽」の授業で幼稚園・保育所と小学校教育の中の音楽の連携の理解を深め、子どもの発達の連続性に興味を持たせることが重要である。本研究は、上記の観点から、幼稚園年長児と小学校低学年の情報機器を使用した表現活動を通して、幼児期と小学校学童期を連動させた音楽教育について研究するものである。情報機器をどのように利用すれば、音楽に関する感性を育み、子どもの音楽表現活動の幅を広げることができるのかを援助学生の子どもの関わり方を含め考察するものである。本稿は日本保育学会第 64 回大会で発表したものをさらに内容を深めたものである。
「春を呼ぶ文化芸術フェスティバル」教員演奏	2012. 3. 3	名古屋芸術大学東キャンパス 3 号館音楽ホール	ベートーベン作曲・ピアノソナタ第 23 番へ短調作品 57「熱情」第 1 楽章を演奏

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 音楽実技 2（伴奏法）	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に必要な音楽理論を伴奏法に結びつけ資料作りを行った。また、移調奏や編曲に音楽ソフト FINALE を有効に利用した。さらに、8 ビートや 16 ビート等のリズム習得に電子ドラムを活用し、多岐に渡る音楽に対する興味を学生に持たせた。	

授業科目 音楽環境デザイン	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
絵本や紙芝居の読み聞かせの時に、音楽ソフト Protools 及び EXTRAM・FX を活用し、効果音やバックミュージック作成・作詞作曲を学生自身の感性に任せて行った。	
授業科目 音楽科指導法	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「春を呼ぶ芸術フェスティバル」で源田俊一郎編曲・「混成合唱のための唱歌メドレーふるさとの四季」及び、坂本浩美作曲「旅立ちの日に」を履修学生に合唱を経験させ、小学校音楽科指導の実践指導への経験とさせた。	

3. 学会等および社会における主な活動

全国大学音楽教育学会	2002年～現在に至る	会員
日本保育学会	1998年～現在に至る	会員
日本音楽教育学会	2009年～現在に至る	会員
全国保育士養成協議会	2008年～現在に至る	中部ブロック幹事
愛知県現任保育士研修運営協議会	2010年～現在に至る	常任委員